

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 KGI・KPI一覧表

KGI：Key Goal Indicator（重要目標達成指標）、4つの基本目標ごとの成果指標として設定
 KPI：Key Performance Indicator（重要業績評価指標）、各基本目標を構成する戦略事業ごとにそれぞれの成果を表す指標として設定

数値目標【KGI】		現状値	目標値	実績値	達成率				
町内企業等（法人）の従業者数		18,592人（H26）	18,592人	16,913人（H31）	91.0%				
製造品出荷額等		3,168億円（H25）	3,338億円	4,117億円（H31）	123.3%				
年間商品販売額		506億円（H24）	506億円	828億円（H29）	163.6%				
事業名	指標名【KPI】（単位）	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	達成率	
基本目標1 エコノミックガーデニング推進事業 （企業総合支援事業・創業支援事業）	支援メニュー利用数（件）	74 (H24~26平均)	実績値 139	163	161	135	127	97.7%	
			目標値 100	105	115	125	130		
	販路拡大支援数（件）	2		実績値 1	12	15	15	25	208.3%
				目標値 3	8	10	10	12	
	新規事業所届出数（件）	63		実績値 63	61	50	54	73	91.3%
				目標値 63	65	70	75	80	
	創業に関する支援数（件）	1		実績値 1	31	55	42	41	585.7%
				目標値 6	6	6	7	7	

数値目標【KGI】		現状値	目標値	実績値	達成率			
転入者数		1,920人（H22~26平均）	2,000人	2,234人（H31）	111.7%			
総人口		48,114人（H31推計値）	48,451人	48,743人（H31）	100.6%			
事業名	指標名【KPI】（単位）	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	達成率
基本目標2 観光推進事業	観光入込客数（万人）	187	実績値 207	213	212	213	216	93.9%
			目標値 215	220	230	230	230	
タウンセールス推進事業	定住等促進に向けたプロモーション活動メニュー数(累計) (件)	-	実績値 -	方針策定	5	6	7	100.0%
			目標値 -	方針策定	4	6	7	

数値目標【KGI】		現状値	目標値	実績値	達成率				
合計特殊出生率		1.37（H25）	1.60	1.32（H30）	91.3%				
年少人口		6,100人（H31推計値）	6,500人	6,299人（H31）	96.9%				
事業名	指標名【KPI】（単位）	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	達成率	
基本目標3 結婚・出産・子育て環境整備事業	小児医療費及び妊婦健康診査費用に対する助成率（％）	100	実績値 100	100	100	100	100	100.0%	
			目標値 100	100	100	100	100		
	乳幼児が良好に過ごせる保育確保量の増加率（％）	-		実績値 16	-	0.8	10.9	30.3	159.5%
				目標値 16	-	-	-	19	
	待機児童数（人）	10		実績値 10	10	5	5	5	50.0%
				目標値 0	0	0	0	0	
	不妊症治療費助成対象者の出産若しくは妊娠安定期に結びついた人数（累計）（人）	0		実績値 0	0	0	1	2	20.0%
				目標値 2	4	6	8	10	
	3歳6ヶ月健診でう蝕のない児の割合（％）	83.8		実績値 79.5	77.4	81.9	85.3	87.1	99.0%
				目標値 84	85	86	87	88	
子育て世代包括支援センターにおける支援の必要性の高い妊婦への支援実施率（％）	-		実績値 -	-	100	100	100	100.0%	
			目標値 -	-	100	100	100		
幼児に対する災害の備えをしている子育て世帯の率（％）	47.4		実績値 54.1	57.1	50.8	48.2	-	81.7%	
			目標値 50	53	56	59	62		
家庭教育推進事業 学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合・小学校（％）	43.8		実績値 41.8	42.4	43.2	44.1	48.4	100.8%	
			目標値 44	45	46	47	48		
家庭教育推進事業 学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合・中学校（％）	60.8		実績値 57.4	59.6	57	67.9	61	93.8%	
			目標値 61	62	63	64	65		
学力向上推進事業 基礎力定着度確認問題の正答率・小学校（％）	77.1		実績値 71.8	72.5	73.5	74.2	-	92.8%	
			目標値 80	80	80	80	80		
学力向上推進事業 基礎力定着度確認問題の正答率・中学校（％）	56.9		実績値 60.1	60.1	62.7	61.9	-	103.2%	
			目標値 60	60	60	60	60		
子育て応援環境整備事業 さむかわ男女共同参画プラン（仕事と生活の調和）実施計画の各事業の年度別目標値達成率（％）	100 (H25実績)		実績値 100	100	73	53	64	64.0%	
			目標値 100	100	100	100	100		
子育て応援環境整備事業 子育て支援に関する団体等への支援数（累計）（件）	0		実績値 1	3	5	9	12	120.0%	
			目標値 2	4	6	8	10		

数値目標【KGI】		現状値	目標値	実績値	達成率			
刑法犯罪件数		417件（H26）	359件	247人（H31）	145.3%			
若い世代からの意見を町政に反映した件数		0件（H26）	10件	7件（H31）	70.0%			
公共交通網に関する満足度		31.2%（H26）	40.0%	38.2%（H29）	95.5%			
事業名	指標名【KPI】（単位）	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	達成率
基本目標4 安心なまちづくり整備事業	空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数（件）	170	実績値 122	124	93	91	83	174.7%
			目標値 165	160	155	150	145	
若者参画推進事業	若い世代による協働に向けた取り組み件数（累計）（件）	1	実績値 1	2	4	5	6	120.0%
			目標値 1	2	3	4	5	
公共交通環境整備事業	寒川町内の駅バリアフリー対策率（％）（バリアフリー化済駅数/全駅数）	66.6	実績値 66.6	66.6	66.6	66.6	66.6	66.6%
			目標値 66.6	66.6	66.6	100	100	
公共交通環境整備事業	コミュニティバス土・日曜日運行乗降客数（人/日）	207 (平日)	実績値 121	129	134	143	131	66.8%
			目標値 113	134	155	175	196	

※H31実績以外の指標は直近の数値により達成率を計算↑

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート
(平成27年度～令和元年度)

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	エコミックガーデニング推進事業(企業総合支援事業・創業支援事業)		
戦略事業責任者	環境経済部長	作成責任者	産業振興課長
		作成年月日	令和2年11月4日
担当部課名	環境経済部産業振興課		
基本目標	基本目標1 地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます		
施策名	施策1 きめ細やかな支援による経済規模の拡大と産業集積の促進		
目指すべき基本的方向	○地域経済の活性化に向け、本町に立地する企業の操業環境や経営課題などを把握し、的確な支援ができる体制を構築します。 地域の魅力を高め、多様な人材の流入を確保するため、新たなビジネスの創出や創業者を支援する環境を整備します。		

事業費の状況(単位:円)		5年間合計	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額	235,439,250	-	61,252,000	59,976,250	57,866,000	56,345,000
	決算(見込み)額	211,768,497	-	53,262,715	52,226,517	53,692,517	52,586,748

KPI (重要業績評価指標)	指標名(単位)	基準値	実績値				
			目標値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
支援メニュー利用数(件)	74 (H24~26平均)	139	163	161	135	127	
		100	105	115	125	130	
	2	1	12	15	15	25	
		3	8	10	10	12	
新規事業所届出数(件)	63	63	61	50	54	73	
		63	65	70	75	80	
創業に関する支援数(件)	1	1	31	55	42	41	
		6	6	6	7	7	

交付金に係るKPI	指標名(単位)	基準値	実績値				
			目標値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
創業支援による創業数(件)	1	0	3	7	6	11	
		1	1	6	6	6	
自動化・省人化セミナー参加者数(人)	-	-	26	-	20	-	
		-	15	-	40	60	
産業ロボット導入支援数(件)	-	-	-	2	-	2	
		-	-	-	-	5	
産業ロボット導入数(台)	-	-	0	0	0	0	
		-	-	-	-	3	
製造業で法人町民税の法人割を納めている企業数(企業)	-	-	-	94	99	102	
		-	-	81	85	90	
創業者数(人)	-	-	-	50	54	73	
		-	-	70	75	80	

計画期間における取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要					
		<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興課内に経営等に関し専門的な知識を有する中小企業診断士3名を「寒川町地域経済コンシェルジュ」として委嘱・設置し企業総合支援を実施 ・企業訪問、経営課題整理、事業承継診断、事業計画作成支援、PRLレポートの作成支援、各種セミナー(自動化省人化、販路拡大支援、改善)、生産性向上自動化診断、支援制度の立案と実施 ・次世代経営者研究会、勉強会の設置と運営支援 ・国、県、金融機関、商工会など支援機関を構成員とする寒川エコノミックガーデニング推進協議会の設置運営 ・寒川エコノミックガーデニングポータルサイトの開設運営 					
			H27	H28	H29	H30	H31
		予算額	-	60,315,000	59,072,250	57,155,000	55,604,000
		決算(見込)額	-	52,825,912	51,822,987	53,280,005	52,204,442
事業の内容	取組項目	取組概要					
		<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興課内に経営等に関し専門的な知識を有する中小企業診断士3名を「寒川町地域経済コンシェルジュ」として委嘱・設置し創業相談窓口の設置 ・創業支援セミナーの開催(経営、財務、販路開拓、人材育成) ・地域で連携し創業しやすい環境を整えるため、町産業振興課内と町内信用金庫と日本政策金融公庫の窓口に創業相談窓口設置 ・町内の空き事業所等の情報を不動産会社から入手し、その情報を相談者に提供するため、「寒川町不動産業協会との企業立地・創業相談ネットワーク」を構築(寒川町不動産業協会) ・町商工会や湘南産業振興財団と連携し、町創業支援事業計画の特定支援事業としている創業支援セミナーや湘南ビジネスコンテストを開催 ・創業支援機関をメンバーとした創業支援ネットワーク連絡会を開催し、各機関で開催するセミナー等情報の共有化 ・企業誘致や既存企業の投資を促し地域産業の振興を図るため、町内に新規立地等する企業に対して税負担の軽減や雇用奨励金の支給、県の産業集積促進融資を受けた企業に対する利子補助を行うとともに、制度利用の促進のため情報を発信 					
			H27	H28	H29	H30	H31
		予算額	-	937,000	904,000	711,000	741,000
		決算(見込)額	-	436,803	403,530	412,512	382,306

計画期間における取り組みの効果検証／内部評価(Check1)

<p>計画期間における取り組みの成果(効果検証)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町が企業支援担当を設置し、地域経済コンシェルジュを委嘱し、経営課題等に対する支援の環境整備ができた。 ・企業訪問通じ、神奈川県が実施している優良小規模事業者表彰を町内企業が受賞した。 ・中小企業情報(町内企業の魅力発信レポート)を作成し、町ホームページに掲載や企業へ配布し、実際にマッチング等の機会の創出につなげた。 ・地域経済コンシェルジュによる支援を通じ「経営革新計画」を策定した企業2社が神奈川県に認定された。 ・町、商工会、金融機関(湘南信用金庫・平塚信用金庫・日本政策金融公庫)で構成する創業支援ネットワーク連絡会を開催し、一体的に創業を支援する体制を構築することができた。 ・「寒川町不動産業協会との企業立地・創業相談ネットワーク」を試行的に実施することができ、町内での企業立地・創業相談者からの情報を寒川町内の不動産会社と共有し、マッチングを図ることが出来た。 ・寒川エコノミックガーデニングポータルサイトを作成し公開することが出来た。 ・国、県、金融機関、商工会等を構成員とする「寒川エコノミックガーデニング推進協議会」の設置により、支援機関のネットワークを活かした支援の環境基盤ができた。 			
<p>KPI(重要業績評価指標) KGI(重要目標達成指標) に関する分析</p>	<p>KPIの達成状況に関する分析(どの取組項目がどのようにKPIに寄与したか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興課に企業支援担当を設置し、地域経済コンシェルジュを委嘱したことに伴い、様々な事業が実施することができた。企業訪問では、町の取り組みや支援制度を周知したことにより、支援メニュー利用数や販路拡大支援数が増加したと考えられる。 ・創業支援については、町などに創業相談窓口を設置し、創業支援セミナーを商工会と町で共催にて開催したことから、創業に関する支援数が増えた。 ・新規事業所届出については、寒川町不動産業協会との企業立地・創業相談ネットワークを構築し、企業立地相談の内容を不動産業協会の会員事業所と共有し、物件案内等行ったのだが、希望にあった土地・物件があまりなく創業件数の増加に繋げることが出来なかったのだが、相談件数的には増えてきているので今後、町内で創業する企業が増えるよう取り組みを進めていきたいと考えている。 <p>KGIの達成状況に関する分析(取組及びKPIの達成状況がどのようにKGIに寄与したか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内企業等(法人)の従業者数、製造品出荷額等、年間商品販売額については、町全体の地域経済を示す指標であり、社会環境などの外部要因に大きく影響を受ける性質がある。しかしながら、本事業における取り組み(KPI)が個々の企業にリーチし、それぞれの経営課題等に対応した個別支援や創業に関する支援、また、国、県、金融機関等の支援機関との連携した支援を通じて、各企業の成長につながり、全体指標の一部として寄与しているものとする。 			
<p>取り組みにおける課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画支援や販路拡大支援に伴うPRレポート作成など意欲的に取り組む企業が少ない(要因多岐) ・潜在的な創業希望者への接点が少ない(既存企業のように直接アプローチができない) ・企業等の適地(規模等)が少ない 			
<p>内部評価結果</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みは有効であった <input type="checkbox"/> 取り組みは有効であったが手法等に課題があった <input type="checkbox"/> 取り組みは有効ではなかった </p>			
<p>第2期総合戦略における事業の方向性</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">第2期総合戦略での事業継続</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 継続する</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 継続しない</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・寒川エコノミックガーデニング推進協議会により、国や県等が実施している支援機関の取り組みなどを共有し、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえた町内企業の課題解決に向けて企業ニーズを把握し、支援機関等と連携した支援のあり方を検討する。 ・寒川エコノミックガーデニング推進協議会ワーキンググループを開催し、町内企業のニーズに合った事業等検討し、地域活性化に向けたセミナー等の事業を実施する。 ・製造業への企業訪問を継続して実施し、法人向けサービス業や小売卸売業等の業種に支援を拡大する。 ・販路拡大支援に伴い、魅力発信レポートについて、町ホームページでの周知だけでなく、町内大規模企業へ周知し、町内取引の増加に向け取り組みを進める。 ・中小企業活性化事業補助金(ISO等認証取得事業補助金・販路拡大等事業補助金・資格取得事業補助金)や創業者支援利子補助金を実施する。 ・事業承継対象企業の支援を実施するにあたり、事業引継ぎ支援センターやよろず支援拠点等と役割について協議を進める。 ・町内企業の事業等を知ってもらい、就職者の増加を目的として、寒川高校と連携しインターンシップ受入れ企業を募集する。 ・後継者及び若手経営者の経営力の向上を目的に実施してきた「さむかわ次世代経営者研究会」の支援を継続。さらに新たに企業の経営者を支える従業員の人材育成を目的とした「勉強会」を立ち上げる。 ・寒川町不動産業協会との企業立地・創業相談ネットワークを試行的に運用し、本格運用に向けて検討を進める。 ・創業者が安定的な経営を行えるように、特定創業支援事業として経営・財務・人材育成・販路開拓等の知識を習得してもらう相談及びセミナーを実施する。 ・創業者の発掘に向けて、創業相談等を町が実施していることの周知を町内商店等の協力を得て、チラシ等で周知する。 ・企業向けの支援制度の周知を目的として連携支援機関で運営する「寒川エコノミックガーデニングポータルサイト」により連携機関の最新の支援情報や創業者・既存企業で成功した事例等を周知し、寒川エコノミックガーデニングの認知度向上を図るとともに取り組みの効果を促進させる。 	第2期総合戦略での事業継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続する	<input type="checkbox"/> 継続しない
第2期総合戦略での事業継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続する	<input type="checkbox"/> 継続しない		

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート
(平成27年度～令和元年度)

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	観光推進事業		
戦略事業責任者	環境経済部長	作成責任者	産業振興課長
		作成年月日	令和2年11月4日
担当部課名	環境経済部産業振興課		
基本目標	基本目標2 「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れをつくります		
施策名	施策2 アピールポイントの発見・創出と発信力の強化		
目指すべき基本的方向	○本町の知名度を向上させ、新たな人の流れを生み出し、定住につなげるため、本町の「売り」となる魅力や特色ある地域資源を有効に活用した「まち」のイメージアップにつながる取り組みを実施するとともに、効果的なタウンセールスを展開するなど、情報発信力を強化します。		

事業費の状況(単位:円)		5年間合計	H27	H28	H29	H30	H31
		予算額	7,279,400	2,548,000	508,000	772,400	508,000
	決算(見込み)額	6,712,383	2,388,848	483,160	772,400	490,000	2,577,975

KPI (重要業績評価指標)	指標名(単位)	基準値	実績値				
			目標値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
	観光入込客数(万人)	187	207	213	212	213	216
			215	220	230	230	230

計画期間における取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要					
		観光振興推進事業 ※H27:地方創生先行型事業	①神輿まつりイベント開催 ②魅力あるまちのPRノベルティグッズを作成しベルマーレホームタウンイベントでの周知・湘南地区観光振興協議会での、キャンペーンへ参加し周知に利用。(夏・秋・冬 近隣市町と連携) ③HPでの周知及びLine(ライン)等でのPR 等				
		H27	H28	H29	H30	H31	
		予算額	2,548,000	508,000	772,400	508,000	2,943,000
		決算(見込)額	2,388,848	483,160	772,400	490,000	2,577,975

計画期間における取り組みの効果検証／内部評価(Check1)

<p>計画期間における取り組みの成果(効果検証)</p>	<p>魅力や特色ある地域資源を有効に活用するために観光案内看板等を設置し、観光資源の魅力の周知及び観光案内所の誘導看板を設置し、環境の整備を進めることができた。</p>		
<p>KPI(重要業績評価指標) KGI(重要目標達成指標) に関する分析</p>	<p>KPIの達成状況に関する分析 (どの取組項目がどのようにKPIに寄与したか) ①神輿まつり開催内容を実行委員会等で検討し魅力ある内容にすることで、神輿まつりへの参加人数としてはH31年度4,500人と、過去最高の人出となった。参加者がイベントを動画投稿サイトに掲載したり、イベント事業の内容で感動したとの意見をいただいたりした。その他のイベントびっちょり祭り、産業まつり等でも年々参加者が増加しており、魅力あるイベント等の創出はできているものと考えられる。 ②湘南地域の市町と県外等で年3回キャンペーンにて周知すること、また、神奈川県や各市町のHPやインスタグラムで情報を発信することで、目標値には達していないものの、H26から観光客は、年々増加しており、SNS等を活用した町独自のPR活動のほか、近隣市町との連携による町の魅力発信も誘客に繋がっているものと考えられる。</p> <p>KGIの達成状況に関する分析 (取組及びKPIの達成状況がどのようにKGIに寄与したか) 魅力ある事業が開催できたこと、県外への誘客キャンペーンによる魅力の訴求により観光客が増加した。(H31 216万人)。観光イベント等では、町に直接お越しいただくことで、来町したことにより寒川の自然や花等、町の雰囲気を知り、町の良さを直接体感できる機会となっている。このため寒川町を知る機会となり(認知度の向上に寄与し)、結果として転入者の増加や総人口の増加に寄与したのではないかと考えられる。</p>		
<p>取り組みにおける課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施内容(個別の取り組み)が、どのくらいの効果があったかを可視化出来るように検討して事業を進める。 ・withコロナ時代における移住・定住施策とその中での観光の在り方など、社会情勢を鑑みて時代にあった事業の推進、及び環境整備が必要。 		
<p>内部評価結果</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みは有効であった <input type="checkbox"/> 取り組みは有効であったが手法等に課題があった <input type="checkbox"/> 取り組みは有効ではなかった </p>		
<p>第2期総合戦略における事業の方向性</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 第2期総合戦略での事業継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続する <input type="checkbox"/> 継続しない </p> <p>事業実施については、社会情勢の状況のみて新たな時代にあった手段で事業を展開し、推進していく。</p>		

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート
(平成27年度～令和元年度)

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	タウンセールス推進事業					
戦略事業責任者	企画部長	作成責任者	広報戦略課長	作成年月日	令和2年11月4日	
担当部課名	企画部広報戦略課					
基本目標	基本目標2 「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れをつくります					
施策名	施策2 アピールポイントの発見・創出と発信力の強化					
目指すべき基本的方向	○本町の知名度を向上させ、新たな人の流れを生み出し、定住につなげるため、本町の「売り」となる魅力や特色ある地域資源を有効に活用した「まち」のイメージアップにつながる取り組みを実施するとともに、効果的なタウンセールスを展開するなど、情報発信力を強化します。					

事業費の状況(単位:円)		5年間合計	H27	H28	H29	H30	H31
		予算額	99,612,583	-	7,485,000	21,987,515	17,098,000
	決算(見込み)額	93,599,061	-	7,484,400	21,746,369	16,228,358	48,139,934

KPI (重要業績評価指標)	指標名(単位)	基準値	実績値				
			目標値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
定住等促進に向けたプロモーション活動メニュー数(累計)(件)		-	-	方針策定	5	6	7
		-	-	方針策定	4	6	7

交付金に係るKPI	指標名(単位)	基準値	実績値					
			目標値					
		H26	H27	H28	H29	H30	H31	
本事業を通じて実際に移住(転入)に繋がった人数(人)		-	-	-	-	264	339	
		-	-	-	-	10	22	
	ワンストップ伴奏型相談窓口等における相談件数(件)		-	-	-	-	105	114
			-	-	-	-	30	75
全転入世帯のうち本事業の取り組みを移住候補地選定として意識した人の割合(%)		-	-	-	-	12	15	
		-	-	-	-	5	15	

計画期間における取り組みの状況(Do)

	取組項目	取組概要																	
事業の内容	タウンセールス推進事業	<p>①推進体制の構築 町民満足度の向上を目指した町民目線の施策等を立案するため、戦略的マーケティング及びプロモーションによる移住定住促進を図るための専従セクションとして広報戦略課を設置した。また、民間企業等でマーケティング、広告、宣伝等の業務に携わり、専門的な知識や高度な業務経験を有する外部人材、寒川町マーケティングマネージャー2名を登用。(H29)</p> <p>②町ブランドの創造 町ブランドスローガン、ブランドマーク、ブランドカラーを制定・展開(H29)</p> <p>③活動ツールの充実 認知度向上に向けたプロモーション活動ツールの制作(移住ポータルサイト、ガイドブック、ポスター、PR動画等)(H29～)</p> <p>④情報発信の強化・ブランド訴求活動 認知度向上に向けた戦略的な情報発信の強化、公式SNS、#さむかわい写真展、広報誌リニューアル等、鉄道広告、地域情報誌広告、SNS広告、住宅情報サイト広告等(H29～)</p> <p>⑤全庁的なプロモーションの推進(インナーブランディング) ブランドについての研修の実施、庁内周知、ブランド意識醸成のためのプロジェクトチームの結成及び、企画部連携による検討チームの結成、各所管課の様々な媒体の可視化、VI(ヴィジュアル アイデンティティ)ガイドラインの制定(H30～)</p> <p>⑥庁内プロジェクトチームによる施策検討 参加職員の施策形成等のスキルアップ、各部各課を超えた横断的なアイデアの創出(H30～)</p> <p>⑦ブランドマネジメント ブランドスローガンやブランドマークによるメッセージやコミュニケーションに一貫性を持たせ、わかりやすく伝達するためにブランドマーク等の使用に関するガイドラインを策定。(H30)</p> <p>⑧ブランドの可視化 コミュニティバス及びバス停、職員用ポロシャツ・ネックストラップ・名刺、パントラックさむかわろゴデザイン、観光矢羽等(H29～)</p> <p>⑨町民と連携した醸成活動 寒川町の独自の価値・存在価値の向上に向け、「高座」のこころ。をスローガンとした、ブランディングを町全体に広げることを目的とする実行部隊として、「高座」のこころ。実行委員会を設置。H30.10月正式設立(H29～)</p>																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>-</td> <td>7,485,000</td> <td>20,957,515</td> <td>16,617,000</td> <td>22,416,000</td> </tr> <tr> <td>決算(見込)額</td> <td>-</td> <td>7,484,400</td> <td>20,948,521</td> <td>15,840,134</td> <td>17,665,910</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	H31	予算額	-	7,485,000	20,957,515	16,617,000	22,416,000	決算(見込)額	-	7,484,400	20,948,521	15,840,134	17,665,910
		H27	H28	H29	H30	H31													
予算額	-	7,485,000	20,957,515	16,617,000	22,416,000														
決算(見込)額	-	7,484,400	20,948,521	15,840,134	17,665,910														
事業の内容	マーケティング推進事業	<p>移住・定住プロモーションを効果的に行うための基礎資料を得るため、eマーケティングリサーチ制度の構築・運用や、転入者・転出者アンケート及びターゲットへの定性調査を実施した。また、庁内プロジェクトチームによる施策検討にあたって、アンケート調査結果の精査や仮説検証等を行った。あわせて、マーケティング推進業務に関する職員のスキルアップに向け、民間会社への派遣研修等を実施した。</p>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1,030,000</td> <td>481,000</td> <td>626,068</td> </tr> <tr> <td>決算(見込)額</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>797,848</td> <td>388,224</td> <td>474,024</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	H31	予算額	-	-	1,030,000	481,000	626,068	決算(見込)額	-	-	797,848	388,224	474,024	
	H27	H28	H29	H30	H31														
予算額	-	-	1,030,000	481,000	626,068														
決算(見込)額	-	-	797,848	388,224	474,024														
事業の内容	アークリーグ開催事業費	<p>ストリートスポーツの世界大会「ARK LEAGUE 2019 IN SAMUKAWA」を首都圏初となる寒川町で開催。3日間で約25,000人を動員するとともに、寒川町の名称と町ブランドマークが度々メディア放映され、広告換算効果としては約2億円以上を獲得。テレビ(主要キー局)、WEB媒体、SNS、新聞等様々な媒体で展開され、町の認知度を向上させた。</p>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>30,000,000</td> </tr> <tr> <td>決算(見込)額</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>30,000,000</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	H30	H31	予算額	-	-	-	-	30,000,000	決算(見込)額	-	-	-	-	30,000,000	
	H27	H28	H29	H30	H31														
予算額	-	-	-	-	30,000,000														
決算(見込)額	-	-	-	-	30,000,000														

計画期間における取り組みの成果(効果検証)	【定量的成果】 ①総人口の推移 2015年の人口ビジョン及び総合戦略の策定以降、毎年100人前後で人口が増加している。(表1) 寒川町の過去5年の人口動態は、住民基本台帳上の動きから見ると、取り組み開始後の2018年度以降、社会増の増加幅が大きくなっている。(表2) ②人口ビジョンにおける目標人口の達成状況(表1・表2) 総人口、転入者数ともに目標を達成している。 推計上は、すでに減少トレンドの局面であるにもかかわらず、総人口・転入者数ともに、微増傾向を推移している。																																																
	【人口推計及び人口ビジョンにおける目標人口実績(～2030年)】表1																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015年</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年</th> <th>2020年</th> <th>2030年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(a)推計人口</td> <td>48,167</td> <td>48,186</td> <td>48,188</td> <td>48,149</td> <td>48,114</td> <td>48,048</td> <td>26,571</td> </tr> <tr> <td>(b)目標人口</td> <td>48,167</td> <td>48,268</td> <td>48,360</td> <td>48,413</td> <td>48,451</td> <td>48,465</td> <td>48,291</td> </tr> <tr> <td>(c)実績</td> <td>48,209</td> <td>48,360</td> <td>48,414</td> <td>48,457</td> <td>48,581</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>b-c</td> <td>42</td> <td>92</td> <td>54</td> <td>44</td> <td>130</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年比</td> <td></td> <td>151</td> <td>54</td> <td>43</td> <td>124</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2030年	(a)推計人口	48,167	48,186	48,188	48,149	48,114	48,048	26,571	(b)目標人口	48,167	48,268	48,360	48,413	48,451	48,465	48,291	(c)実績	48,209	48,360	48,414	48,457	48,581	-	-	b-c	42	92	54	44	130			前年比		151	54	43	124		
		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2030年																																									
	(a)推計人口	48,167	48,186	48,188	48,149	48,114	48,048	26,571																																									
	(b)目標人口	48,167	48,268	48,360	48,413	48,451	48,465	48,291																																									
	(c)実績	48,209	48,360	48,414	48,457	48,581	-	-																																									
	b-c	42	92	54	44	130																																											
	前年比		151	54	43	124																																											
	実績は令和2年4月1日時点住民基本台帳より																																																
【転入転出の状況】表2																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015年</th> <th>2016年</th> <th>2017年</th> <th>2018年</th> <th>2019年</th> <th>2020年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>転入</td> <td>1,963</td> <td>2,041</td> <td>2,061</td> <td>2,129</td> <td>2,234</td> <td>357</td> </tr> <tr> <td>転出</td> <td>1,820</td> <td>1,890</td> <td>1,939</td> <td>1,917</td> <td>1,997</td> <td>272</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>143</td> <td>151</td> <td>122</td> <td>212</td> <td>237</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	転入	1,963	2,041	2,061	2,129	2,234	357	転出	1,820	1,890	1,939	1,917	1,997	272	増減	143	151	122	212	237	85														
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年																																											
目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000																																											
転入	1,963	2,041	2,061	2,129	2,234	357																																											
転出	1,820	1,890	1,939	1,917	1,997	272																																											
増減	143	151	122	212	237	85																																											
各年度末時点、2020年は4月・5月のみ																																																	
③ブランドの認知度 【町民】 町民を対象としたH31年度に実施したブランド浸透度調査で、ブランドマークの認知度は50%、ブランドスローガンの認知度は37%、ブランドスローガンの意味を知っているについては31%を推移。 【町外住民】 令和元年6月1日から令和2年2月29日転入者窓口アンケートでは、ブランドマーク、ブランドスローガンを見たり聞いたことがあると回答した方は、17.5%を推移している。町公式SNS(インスタグラム)では、ブランディングを開始したH30.2月、953だったフォロワー数が、R2.1月には10,000を超え、そのうち、約98%が町外からのフォローである。																																																	
【定性的成果】 ④県外自治体への取り組みの認知度 情報発信・プロモーション展開に関する県外自治体等からの視察依頼 (1)島根県奥出雲町 (2)東備西播定住自立圏形成協議会(岡山県備前市、兵庫県赤穂市、兵庫県上郡町) ⑤町民等の具体的な反応・声 ブランドマークについて、寒川町がよりよく感じられる、デザインが大好き、などの声がある。 コミュニティバスについて、色が高級感を感じる、洗い、かっこいいという印象から、乗る気になるという声がある。 インスタグラムについて、投稿、返信等の対応のほか、住まいは関係なくフォローを続ける、一緒に盛り上げる、などの声がある。																																																	
【その他】 ⑥eマーケティングリサーチ制度をもとにした取り組みの具現化 eマーケティングリサーチ制度から得られた意見や結果から、「乳幼児紙おむつ用ごみ袋無償配布」事業、役場庁舎内キッズコーナー新設、を実現することができた。 ⑦マーケティング調査に基づいた施策検討の実施 各種調査の結果から得られたニーズや価値観等に基づき、町の魅力や特色となる施策を検討することができた。 ⑧ストリートスポーツの世界大会「ARK LEAGUE 2019 IN SAMUKAWA」を開催し、3日間で来場者数約25,000人、各種メディアでの広告換算効果約2億円以上を獲得。寒川町の名称や町ブランドスローガン、ブランドマークの展開を行い、町の認知度を向上させた。また、各種ストリートスポーツを楽しむ層に対しては強い訴求効果を示すなど、従来よりも幅広い層の認知度を向上させ、移住や、交流人口の増加に寄与している。																																																	
KPIの達成状況に関する分析(どの取組項目がどのようにKPIに寄与したか) 専従セクションである広報戦略課を設置し、マーケティングマネージャーを登用した。平成30年2月からは、「高座」のこころ。を旗印としたブランディングの浸透定着に向け、ブランドの可視化、効果的な情報発信、町民と連携したブランド醸成のための実行委員会の立ち上げ、ARK LEAGUEとのタイアップによる取り組みが、プロモーション活動メニュー数の充実につながった。																																																	

<p>KPI(重要業績評価指標) KGI(重要目標達成指標) に関する分析</p>	<p>KGIの達成状況に関する分析（取組及びKPIの達成状況がどのようにKGIに寄与したか）</p> <p>プロモーション活動メニュー数を充実(KPI達成)させることで、ターゲットが情報を取得しやすい環境を整備及び届けたい情報をより効果的なメニューで発信できたことで、KGIに寄与することができたと考えられる。実際に移住につながった人数は、平成31年度339人となっており、総転入者数の2,234人の内15%を占めている。</p> <p>寒川町は平成28年以降、転入超過となっているが、その特徴としては、0歳から4歳及び30歳から40歳の転入が多いことから、ターゲットとしている子育て世帯への効果的なプロモーション活動ができたと考えられる。</p> <p>・実際に移住(転入)につながった人数については、プロモーション活動ツールとして制作した移住ポータルサイトへの誘導、町民を中心として組織した「高座」のころ。実行委員会との官民一体の取り組み、ARK LEAGUEとタイアップしたプロモーション活動によって達成することができた。</p> <p>・相談窓口等における相談件数については、SNS広告、住宅情報サイト広告等によるブランド訴求活動や、移住ポータルサイトを移住相談窓口の役割を兼ねる内容としたことで、達成することができた。</p> <p>・全転入世帯のうち本事業の取り組みを移住候補地選定として意識した人の割合については、移住ポータルサイト、ガイドブック、PR動画、鉄道広告、SNS広告、住宅情報サイト広告等で効果的な情報発信をしたことで、寒川での生活をイメージしてもらうことができたため、達成できた。</p>			
<p>取り組みにおける課題</p>	<p>■旗印としているブランドスローガンが目指す姿を具現化した施策の構築・展開</p> <p>移住・定住先として寒川町が選ばれるためには、今後、さらなるブランドの浸透を図り、町の存在価値を高め、ブランドの認知度をさらに高めていく必要があるため、町民の幸せと誇りに繋がるブランドスローガンを体現した「施策の構築」と「町民とのコミュニケーション体制の構築」が課題である。</p> <p>■町民へのブランド醸成</p> <p>・町の施策を通じてブランドを感じてもらうことによって、町民一人一人が自分事になって町づくりに参画する確率が上がるため、継続した町民へのブランド醸成が課題である。</p> <p>・町のブランディングへの取り組みに無関心な町民に対してのアプローチが課題である。</p> <p>■町外住民へのブランド醸成</p> <p>・ターゲットとする世代への転入者に偏りがあるため、実際に現在転入を検討していない今後ターゲットとなりうる層へのアプローチが必要。</p> <p>・ポータルサイトの内容を実際に転入するときに必要な情報が整理されていてわかりやすくすること、及びポータルサイトへ誘導するための新たなコンテンツの掘り起こしが課題である。</p> <p>■町外住民(ターゲット)への直接的なアプローチ</p> <p>寒川町を移住の候補地としていない人への効果的なアプローチとして、移住検討者の行動分析と、それに基づいた直接的なアプローチができる企業、事業者等との連携を構築する必要がある。</p> <p>■ブランドの可視化については、ある一定のブランド浸透の手応えは感じているものの、セカンドステージとして平成30年10月に制定したVIガイドラインに基づき、統一感あるデザインで町に進化感を取り込んでいくことが課題である。</p> <p>■職員へのマーケティング思想の定着</p> <p>マーケティングに基づく取り組みをより効果的に実施するために、専従セクションだけでなく全庁的にマーケティングの考え方やノウハウを定着させていく必要があり、今後こうした庁内におけるビッグデータの取り扱いやマーケティングに関するスキルアップ研修等を行っていく必要がある。</p>			
<p>内部評価結果</p>	<p>■取り組みは有効であった □取り組みは有効であったが手法等に課題があった □取り組みは有効ではなかった</p>			
<p>第2期総合戦略における事業の方向性</p>	<table border="1" data-bbox="523 1391 1390 1417"> <tr> <td style="text-align: center;">第2期総合戦略での事業継続</td> <td style="text-align: center;">■継続する</td> <td style="text-align: center;">□継続しない</td> </tr> </table> <p>KGIである「転入者数」「総人口」は目標値を達成しており、本事業は順調に推移していると考えられることから、第2期総合戦略において大きな方針転換は行わず、現在の取り組み内容を発展させつつ、これまでの課題を踏まえさらなるブラッシュアップを図っていく。</p> <p>町ブランドのさらなる展開のため、町民と一体となった取り組みを推進していくほか、町外住民に対するブランド訴求や直接的なアプローチを進め、さらなる効果アップを目指すほか、町内外の住民ニーズを捉えた取り組みを全庁的に(各分野において)展開していくため、庁内におけるマーケティングスキルの定着、活用体制の構築を目指す。</p>	第2期総合戦略での事業継続	■継続する	□継続しない
第2期総合戦略での事業継続	■継続する	□継続しない		

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート
(平成27年度～令和元年度)

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	結婚・出産・子育て環境整備事業		
戦略事業責任者	健康子ども部長	作成責任者	子育て支援課長
		作成年月日	令和2年11月4日
担当部課名	健康子ども部子育て支援課、保育・青少年課 / 町民部町民安全課		
基本目標	基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくれます		
施策名	施策3 結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実		
目指すべき基本的方向	○出会いのきっかけづくりなどにより結婚を支援するとともに、出生数の増加や結婚・出産を契機とした近隣市からの流入増加を図るため、出産や子育ての経済的負担や悩みの軽減、子育てと仕事が両立できる環境づくりなど、結婚から子育てまで切れ目のない支援を実施します。		

事業費の状況(単位:円)		5年間合計	H27	H28	H29	H30	H31
		予算額	1,221,213,717	7,156,000	199,204,482	541,553,830	234,879,400
	決算(見込み)額	1,115,803,750	6,401,264	174,931,849	507,463,307	219,414,006	207,593,324

KPI (重要業績評価指標)	指標名(単位)	基準値	実績値				
			目標値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
	小児医療費及び妊婦健康診査費用に対する助成率(%)	100	100	100	100	100	100
			100	100	100	100	100
	乳幼児が良好に過ごせる保育確保量の増加率(%)	-	16	-	-	-	30.3
			16	-	-	-	19
	待機児童数(人)	10	10	10	5	5	5
			0	0	0	0	0
	不育症治療費助成対象者の出産若しくは妊娠安定期に結びついた人数(累計)(人)	0	0	0	0	1	2
			2	4	6	8	10
	3歳6ヶ月健診でう蝕のない児の割合(%)	83.8	79.5	77.4	81.9	85.3	87.1
			84	85	86	87	88
	子育て世代包括支援センターにおける支援の必要性の高い妊婦への支援実施率(%)	-	-	-	100	100	100
			-	-	100	100	100
	幼児に対する災害の備えをしている子育て世帯の率(%)	47.4	54.1	57.1	50.8	48.2	-
			50	53	56	59	62

計画期間における取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要					
		小児医療費助成事業	小児が病院等受診した際に支払う医療費の保険診療分の自己負担額を助成した。平成29年4月診療分から通院の対象者を、それまでの小学6年生までから中学3年生までに拡充した。				
		H27	H28	H29	H30	H31	
		予算額	-	150,000,000	169,745,430	165,000,000	163,000,000
		決算(見込)額	-	141,116,873	143,934,381	152,031,769	145,345,639
	不育症治療費助成事業 ※H27:地方創生先行型事業	少子化対策の充実を図るため、不育症に悩む夫婦に対して、治療費の一部を助成し経済的負担の軽減を図った。					
		H27	H28	H29	H30	H31	
		予算額	400,000	400,000	400,000	200,000	200,000
		決算(見込)額	0	0	0	48,000	168,000
	特定不妊治療費助成事業	不妊治療費のうち、医療保険が適用されず高額な医療費がかかる体外受精及び顕微授精等について、治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図った。平成28年4月治療分から、初回の助成額の拡充や男性の治療も対象にするなどの制度改正を行った。					
		H27	H28	H29	H30	H31	
		予算額	-	2,100,000	2,500,000	2,267,000	2,200,000
		決算(見込)額	-	1,952,000	2,206,000	1,774,000	2,066,000
	母子保健事業	すべての妊婦に妊婦健康診査の公費負担を行うとともに、里帰り等で妊婦健康診査補助券を使用できなかった人に申請により妊婦健診費用の助成を実施し、経済的負担の軽減を図った。平成28年4月から助成額を増額(妊婦一人につき1回目9,700円→12,000円、2～14回目各3,000円→各5,000円、合計48,700円→77,000円)。					
		H27	H28	H29	H30	H31	
		予算額	-	27,362,482	27,142,000	24,352,000	24,402,005
		決算(見込)額	-	23,478,933	25,867,137	23,479,742	24,084,196
	う蝕予防対策事業 ※H27:地方創生先行型事業	平成28年度から2歳児歯科相談を2歳児歯科健診とし、ブラッシング等の歯科保健指導と子どものおやつ・食事についての食育指導を全員に実施するとともに、妊娠期(妊婦歯科健診で妊娠中の歯科保健指導)、乳児期(親子のスキンシップとみがき直し指導)、幼児期(子どもの歯科相談)にわたり切れ目なく歯科保健指導・食育指導を実施し、う蝕予防の意識付けを図った。					
		H27	H28	H29	H30	H31	
		予算額	844,000	1,437,000	1,377,000	1,312,000	1,314,000
		決算(見込)額	787,884	1,382,543	1,350,025	1,278,193	1,184,209
	子育て世代包括支援センター事業	妊娠届出時にすべての妊婦に面接することで状況を把握し、支援の必要な妊婦の継続的な支援を実施した。また、産後、育児に対する強い不安のある妊婦を産後ケアに結びつけ不安の軽減を図った。					
		H27	H28	H29	H30	H31	
		予算額	-	-	7,556,000	8,165,000	7,961,000
		決算(見込)額	-	-	7,019,364	7,387,302	4,912,280
	保育環境充実事業 ※H27:地方創生先行型事業	旧町立保育所3園の大規模修繕に補助金を交付することで、保護者が安心して預けられる施設を維持するとともに、平成29年度に家庭的保育事業、平成30年度には認定こども園や小規模保育事業の開所に対して補助金を交付し、保育環境の充実を図った。また、一時預かり事業を実施している園に対して補助金を交付することにより、事業の充実を図った。					
		H27	H28	H29	H30	H31	
		予算額	4,769,000	17,905,000	332,833,400	33,583,400	39,343,000
		決算(見込)額	4,768,820	7,001,500	327,086,400	33,415,000	29,833,000
	防災活動充実事業 ※H27:地方創生先行型事業	乳幼児健康診査・相談時、子育て支援センターや自主防災組織、各種団体訓練時に講話等を行い啓発活動を行った。また、各保育施設でパンフレットの配布を行った。					
		H27	H28	H29	H30	H31	
		予算額	1,143,000	0	0	0	0
		決算(見込)額	844,560	0	0	0	0

<p>計画期間における取り組みの成果(効果検証)</p>	<p>【小児医療費助成事業】 平成29年度からそれまでの入院に加えて通院も中学3年生まで対象としたことで、入院・通院ともに中学生をもつ家庭の医療費負担軽減を図ることができるようになった。</p> <p>【不育症治療費助成事業】 先行型として平成27年度から実施したものの平成29年度まで申請がなかった。必要な時に備えることが重要という評価のもと事業を継続し、平成30年度・平成31年度(令和元年度)に各1件の助成につながった。また、その後の出産にもつながっている。</p> <p>【特定不妊治療費助成事業】 国・県の助成制度変更に合わせて、助成額の拡充や男性の治療も対象にするなど適時制度改正を行ったことで、毎年度一定の助成件数・助成額を維持しており、必要とされる制度になっている。また、助成を受けてから、その後の出産につながったケースもある。</p> <p>【母子保健事業】 妊婦の状況により受診回数は異なるものの、すべての妊婦が必要な妊婦健診を受診できており、安心して妊娠・出産してもらうことにつながっている。また、助成額の増額により、経済的負担の軽減も図れている。</p> <p>【う蝕予防対策事業】 2歳児歯科健診の受診率は平均93%で、受診した母子すべてに歯科保健指導を実施できている。平成31年度(令和元年度)の3歳6か月児健診のう蝕のない児の割合は87.1%で、目標値に0.9ポイント足りなかったものの、3年連続で前年度を上回る伸びを示しており、歯科保健指導・食育指導の効果が表れている。</p> <p>【子育て世代包括支援センター事業】 平成29年度の事業開始以降、妊娠届出時にすべての妊婦に面接して状況を把握することにより、妊娠中から出産後まで継続的な支援を実施し、産婦の育児不安の軽減を図った。また、平成31年度(令和元年度)下半期には産後ケア訪問型の基準時間拡大について検討し、令和2年度からの改正につなげることができた。</p> <p>【保育環境充実事業】 保育確保量として、平成29年度の家庭的保育事業開所で5人増、平成30年度の認定こども園開所で50人増、小規模保育事業開所で19人増、合計で74人増となった。これに伴う定員増により平成27年度より待機児童数は減少したものの、目標値達成には至らなかった。</p> <p>【防災活動充実事業】 自主防災訓練等で啓発を実施し、一定の成果はあったと考えられる。</p>
<p>KPI(重要業績評価指標) KGI(重要目標達成指標) に関する分析</p>	<p>KPIの達成状況に関する分析 (どの取組項目がどのようにKPIに寄与したか)</p> <p>(小児医療費及び妊婦健康診査費用に対する助成率) 【小児医療費助成事業】【母子保健事業】 いずれも対象者には現物給付または償還払いの形で費用助成がなされるためKPIの目標値を達成できた。 (乳幼児が良好に過ごせる保育確保量の増加率)、(待機児童数) 【保育環境充実事業】 認定こども園や小規模保育事業等の新設に対する補助金交付により、定員増を図ることができ、KPIの目標値には近づいたものの、達成には至らなかった。 (不育症治療費助成対象者の出産若しくは妊娠安定期に結びついた人数) 【不育症治療費助成事業】 平成29年度まで申請がなく、平成30年度以降1件ずつ申請があり出産までつながったものの、KPIの目標値達成には至らなかった。 (3歳6か月健診でう蝕のない児の割合) 【う蝕予防対策事業】 従来の2歳児歯科相談を平成28年度から2歳児歯科健診に改め、「事業の内容」に記載の取り組みを継続したことで、平成29年度から3年続けてKPIが伸びたものの、目標値達成には至らなかった。 (子育て世代包括支援センターにおける支援の必要性の高い妊婦への支援実施率) 【子育て世代包括支援センター事業】 妊娠届出時にすべての妊婦に面接して状況把握を行うことで、必要な支援につなげることができ、KPIの目標値を達成できた。 (幼児に対する災害の備えをしている子育て世帯の率) 【防災活動充実事業】 コロナウイルス感染症の影響でアンケート調査の結果が得られなかったため、数値による比較は困難となってしまった。引き続きアンケートを行い分析を行う必要がある。</p> <p>KGIの達成状況に関する分析 (取組及びKPIの達成状況がどのようにKGIに寄与したか)</p> <p>「小児医療費助成事業」「母子保健事業」「子育て世代包括支援センター事業」のKPIは、いずれも計画期間における目標値を達成した。また、「不育症治療費助成事業」は計画期間終盤で2件の助成実績があり、「特定不妊治療費助成事業」も計画期間中一定の助成実績があった。</p> <p>一方で、「保育環境充実事業」では、新たな認定こども園等の開設に伴う補助金交付による施設整備が進み、「う蝕予防対策事業」では平成29年度以降のKPIが前年度を上回っているものの、いずれも目標値の達成には至らず、「防災活動充実事業」については新型コロナウイルス感染症の影響により計画期間最終年度のKPIを測ることができなかった。</p> <p>こうした状況の中、合計特殊出生率については平成27年に目標値を達成したが、その後は伸びず、年少人口についても計画期間を通じて減少傾向を示す結果となり、いずれも目標値を達成できなかった。</p> <p>個々の取り組みは、KPI未達成の事業も含めて一定の成果は上げているものと考えているが、結果としてKGIの目標値達成に結びついていないことから、少なからず改善の余地があると考えられる。</p>

<p>取り組みにおける課題</p>	<p>【小児医療費助成事業】 他自治体の状況を踏まえると、所得制限の内容や撤廃等の制度見直しについて検討の余地がある。</p> <p>【不育症治療費助成事業】 不育症治療の制度周知は専門医療機関を通じて行われているが、一般にも広く周知していくことで不育相談につながる可能性があるため、引き続き周知を図る。</p> <p>【特定不妊治療費助成事業】 毎年度一定の助成件数があり、事業の必要性は十分ある。</p> <p>【母子保健事業】 定期的な健診受診を促す支援と制度周知を効率的に継続する。</p> <p>【う蝕予防対策事業】 う蝕予防には良い生活習慣を身につけることが重要であることから、歯科健診のみでなく、良い生活習慣の意識を定着させていく必要がある。</p> <p>【子育て世代包括支援センター事業】 複雑な家庭事情や子育てへの強い不安を持つケースが増加していることへの対応や、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う相談等の手法を検討する必要がある。</p> <p>【保育環境充実事業】 待機児童数については目標値を達成できていないため、新設園開所による定員増の他にも方策を検討する必要がある。</p> <p>【防災活動充実事業】 子育て世代への防災・減災の取り組みを強化していく必要がある。</p>			
<p>内部評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 取り組みは有効であった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 取り組みは有効であったが手法等に課題があった</p> <p><input type="checkbox"/> 取り組みは有効ではなかった</p>			
<p>第2期総合戦略における事業の方向性</p>	<table border="1" data-bbox="424 622 1449 651"> <tr> <td data-bbox="424 622 932 651"> <p>第2期総合戦略での事業継続</p> </td> <td data-bbox="932 622 1171 651"> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続する</p> </td> <td data-bbox="1171 622 1449 651"> <p><input type="checkbox"/> 継続しない</p> </td> </tr> </table> <p>【小児医療費助成事業】 制度見直しについて考慮しながら、安定した事業継続を図る。</p> <p>【不育症治療費助成事業】 継続実施</p> <p>【特定不妊治療費助成事業】 継続実施</p> <p>【母子保健事業】 継続実施</p> <p>【う蝕予防対策事業】 妊娠期から乳幼児期までの歯科保健対策を継続し、う蝕予防意識の定着を図る。また、良い生活習慣の確立支援と2歳児以降の食事の食べ方指導を、引き続き実施する。</p> <p>【子育て世代包括支援センター事業】 利用対象となる期間を延長するなど制度の改善を図り、産後の不安軽減のため、産後ケア事業を効果的に実施する。</p> <p>【保育環境充実事業】 令和4年度に幼保連携型認定こども園が開所し定員増となる予定なので、待機児童解消につなげる。また、一時預かり事業実施施設への補助を引き続き実施することで当該事業の充実を図り、待機児童の解消につなげていく。</p> <p>【防災活動充実事業】 子育て世代へのアプローチが必要と考える。</p>	<p>第2期総合戦略での事業継続</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続する</p>	<p><input type="checkbox"/> 継続しない</p>
<p>第2期総合戦略での事業継続</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続する</p>	<p><input type="checkbox"/> 継続しない</p>		

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート
(平成27年度～令和元年度)

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	家庭教育推進事業				
戦略事業責任者	教育次長	作成責任者	教育総務課長	作成年月日	令和2年11月4日
担当部課名	教育委員会教育総務課、学校教育課				
基本目標	基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります				
施策名	施策4 学力の向上と家庭教育支援の充実				
目指すべき基本的方向	○子どもたちが確かな学力を身につけられるよう、教育環境や教育内容の充実など学力向上に向けた学校教育のさらなる充実を図るとともに、家庭での学習習慣の醸成など家庭教育の充実を図り、学校・家庭・地域全体で子どもを育て見守る環境をつくります。				

事業費の状況(単位:円)		5年間合計	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額	3,209,077		823,000	1,348,000	524,000	514,077
	決算(見込み)額	2,748,317		822,720	887,520	524,000	514,077

KPI (重要業績評価指標)	指標名(単位)	基準値	実績値				
			目標値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
	学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合・小学校(%)	43.8	41.8	42.4	43.2	44.1	48.4
			44	45	46	47	48
	学校授業以外の勉強時間が1時間以上の割合・中学校(%)	60.8	57.4	59.6	57	67.9	61
			61	62	63	64	65

計画期間における取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要	H27	H28	H29	H30	H31
事業の内容	家庭教育推進事業	0歳から15歳までの子を持つ世帯に、家庭での教育の一助としてもらうため、発達段階に応じた子育てや家庭学習のポイントをまとめたハンドブックを平成29年度に10,000部発行し、幼稚園、保育園、小中学校へ配布した。平成30年度からは乳幼児検診時や町外からの転入届時に対象世帯へ配布した。ハンドブックの活用を促すために、内容を町ホームページで公開している。		0	778,000	0	0
		予算額		0	778,000	0	0
		決算(見込)額		0	317,520	0	0
事業の内容	家庭教育講座等開催事業	公民館事業として親子対象の家庭教育講座を毎年開催している。主に母子向けの体操やリミックなど体を動かす内容は、子育てで引きこもりがちの中、参加者同士の交流ができることで、母親の心のケアの一助にもなっている。地域の公民館を利用してもらうことで、学びや地域とつながる機会、接点となっている。		70,000	70,000	24,000	14,077
		予算額		70,000	70,000	24,000	14,077
		決算(見込)額		70,000	70,000	24,000	14,077
事業の内容	子ども読書ふれあい事業	幼少期から本との出会いの場を設けるために、毎週土曜日に「おはなし会」を実施している。乳幼児親子向けの「おひぎにだっこのおはなし会」については第4水曜日と令和元年度から第1日曜日を増やし、月2回としたところ、日曜日に父子の参加が増えている。		500,000	500,000	500,000	500,000
		予算額		500,000	500,000	500,000	500,000
		決算(見込)額		500,000	500,000	500,000	500,000
事業の内容	家庭学習推進事業	学齢期における家庭での学習を推進するために、平成29年度作成の家庭学習推進啓発資料「家庭学習の手引き」を、町ホームページで全国学力学習状況調査の結果分析をもとに改訂し公開している。		253,000	0	0	0
		予算額		253,000	0	0	0
		決算(見込)額		252,720	0	0	0

計画期間における取り組みの効果検証／内部評価(Check1)

<p>計画期間における取り組みの成果(効果検証)</p>	<p>この計画期間における重点取り組みは平成29年度に発行した「家庭教育・家庭学習ハンドブック」であるとする。公民館における家庭教育講座等開催や、図書館における子ども読書ふれあい事業、学校教育における家庭学習推進は計画期間に関わらず、次代を担う子どもたちの豊かな個性と創造性を育み、健やかな成長を促すための普遍的な取り組みとして必要であるものとする。</p>		
<p>KPI(重要業績評価指標) KGI(重要目標達成指標) に関する分析</p>	<p>KPIの達成状況に関する分析 (どの取組項目がどのようにKPIに寄与したか) 家庭教育講座等開催事業や子ども読書ふれあい事業については、行政として親子が学びとつながる機会を意図的に創出することができた。総合図書館での「おひざにだっこのおはなし会」を日曜日に設定したことにより、父子の参加が増えたことは、男性に対しても家庭教育に接する機会の一助となった。</p> <p>KGIの達成状況に関する分析 (取組及びKPIの達成状況がどのようにKGIに寄与したか) 家庭教育推進事業が基本目標である「子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります」に寄与できているか事業の取り組みや達成状況の数値により明確な関連づけはできないが、近年の人口動態から寒川町は近隣自治体と比べて遜色ないほどファミリー層の確保に成功しており、家庭における教育の状況が一定程度寄与しているものと推測する。</p>		
<p>取り組みにおける課題</p>	<p>ファミリー層の転入が増えている近年の人口動態を鑑み、これをさらに定着させるために、未就学期及び学齢期の児童、またその親にとって魅力的な新たな教育・学習コンテンツの構築が必要である。</p>		
<p>内部評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/>取り組みは有効であった <input checked="" type="checkbox"/>取り組みは有効であったが手法等に課題があった <input type="checkbox"/>取り組みは有効ではなかった</p>		
<p>第2期総合戦略における事業の方向性</p>	<p>第2期総合戦略での事業継続</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>継続する</p>	<p><input type="checkbox"/>継続しない</p>
<p>近年の核家族化や都市化により、親族や地域からの子育てへの支援が希薄になっており、出産や育児について、日常生活の中で学んだり、相談できる機会が得にくく、子どもを産み育てることに伴う不安や悩みを抱え込みがちになっているため、行政として家庭教育支援事業は継続して行う必要がある。今後は、既存の取り組みだけではなく、移住・定住のターゲットとなるそうにとって魅力的な教育・学習コンテンツの構築を行う必要がある。</p>			

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート
(平成27年度～令和元年度)

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	学力向上推進事業			
戦略事業責任者	教育次長	作成責任者	学校教育課長	作成年月日 令和2年11月4日
担当部課名	教育委員会教育総務課、学校教育課			
基本目標	基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります			
施策名	施策4 学力の向上と家庭教育支援の充実			
目指すべき基本的方向	○子どもたちが確かな学力を身につけられるよう、教育環境や教育内容の充実など学力向上に向けた学校教育のさらなる充実を図るとともに、家庭での学習習慣の醸成など家庭教育の充実を図り、学校・家庭・地域全体で子どもを育て見守る環境をつくります。			

事業費の状況(単位:円)		5年間合計	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額	1,487,791,960		36,716,000	179,942,780	712,245,780	558,887,400
	決算(見込み)額	965,853,623		33,527,619	174,652,399	272,501,319	485,172,286

KPI (重要業績評価指標)	指標名(単位)	基準値	実績値				
			目標値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
基礎力定着度確認問題の正答率・小学校(%)		77.1	71.8	72.5	73.5	74.2	未実施 (コロナの為)
			80	80	80	80	80
基礎力定着度確認問題の正答率・中学校(%)		56.9	60.1	60.1	62.7	61.9	未実施 (コロナの為)
			60	60	60	60	60

計画期間における取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要					
	事業の内容	教職員の資質向上事業	教育フロンティア専門指導員(校長・教頭経験者より)を配置し、若手教員の指導を中心に、校長・教頭の学校運営上の補佐及び、大きく変わる学校教育、教職員の研修に係る先駆的な指導を行った。 ・小学校担当1名、中学校担当1名 計2名 ・週4日、学校勤務(授業参観後の指導助言による教職員の資質向上)	H27	H28	H29	H30
予算額				6,074,000	6,074,000	6,074,000	8,450,000
決算(見込)額				5,756,970	5,920,209	5,920,209	8,246,500
事業の内容			少人数学習推進事業	・各学校に1名の非常勤講師を配置し、算数、数学等の教科を中心に、学級を半分程度の人数に分け、少人数で授業を行うことで、活動や発言の回数を増やすことができたり、質問等がしやすくなるなどの効果が表れたほか、丁寧な見取りから個別の指導を行った。	H27	H28	H29
予算額		19,551,000		11,919,780	11,919,780	11,451,000	
決算(見込)額		18,090,249		11,728,671	11,728,671	10,647,571	
事業の内容	寒川にこここ学習推進事業	・補充的な学習を必要とする児童・生徒及び外国につながる児童・生徒を支援するため、学校以外に学習相談ができる場を設けるとともに、地域の人材等を活用した自主的な学習会を行った。 ・実施にあたっては、教員OBや地域の方を講師に迎え、個別指導を通じた充実した学習会として、町民センターにおいて45回開催した。		H27	H28	H29	H30
予算額			780,000	1,949,000	1,949,000	1,177,000	
決算(見込)額			360,000	1,213,519	1,213,519	976,255	
事業の内容		学校施設改修事業	・各中学校の図書室に空調機を設置(H28) ・各中学校の普通教室に空調機を設置(H29) ・各小学校の普通教室等に空調機を設置(H30) ・旭が丘中学校の便所の大規模改修を実施(R1)	H27	H28	H29	H30
予算額			10,311,000	160,000,000	692,303,000	537,809,400	
決算(見込)額			9,320,400	155,790,000	253,638,920	465,301,960	

計画期間における取り組みの効果検証／内部評価(Check1)

<p>計画期間における取り組みの成果(効果検証)</p>	<p>・フロンティア教育専門指導員による、初任者をはじめとした教職員の資質向上や、少人数学習による、きめ細かい指導、子どもや保護者のニーズに応じた、個別指導による補充学習会の実施などを通じて、子どもたちが確かな学力を身につけられるよう、教育内容の充実を図ることができた。 ・学力向上に向けては、教育内容及び教育環境の充実が相互に作用して図られるものであり、近年の温暖化等への対策などの実態に応じて、適切な学校施設の改修を通じて教育環境の充実を図ることができた。</p>			
<p>KPI(重要業績評価指標) KGI(重要目標達成指標) に関する分析</p>	<p>KPIの達成状況に関する分析 (どの取組項目がどのようにKPIに寄与したか) ・小学校においては、平成28年度から各年度において少しの伸びが見られる。 ・中学校においては、評価指数の目標値は達成している。 ・評価指標に反映されるには時間がかかる事業もあるが、各事業を実施することで教育内容の充実及び教職員の資質向上につながっている。 ・近隣市町と同様の傾向であるが、教員の確保が難しい現状の中、少人数学習推進事業において完全な配置ができていない部分もあったが、子どもたちの状況や学校が抱える課題が複雑化・困難化する中で、学校の教員を増やすための予算や配置が確保されていることは学校の支えになっている。</p> <p>KGIの達成状況に関する分析 (取組及びKPIの達成状況がどのようにKGIに寄与したか) ・寒川にこにこ学習推進事業を通じて、学校以外に学習相談ができる場を設けるとともに、地域人材を生かした自主的な学習会を開催し、家庭での学習習慣の醸成の点から、家庭教育の充実を図ることができた。 ・教職員の資質向上や、少人数学習によるきめ細かい指導などを通じて、子どもや保護者のニーズに応じて、子どもたちが確かな学力を身につけられるよう、教育内容及び教育環境の充実を図り、学校・家庭・地域全体で子どもを育て見守り、子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境の改善を図ることができた。</p>			
<p>取り組みにおける課題</p>	<p>・少人数学習推進事業において、配置教員が年度途中でより待遇の良い県費の非常勤講師等に移籍するなどして、年間を通して配置できない場合があり、人材確保が課題である。 ・近隣市町の傾向ではあるが、県費の教員、町費の教員を確保することが困難である。学校のニーズと希望者の勤務時間等のニーズが合わずに話が流れる傾向がある。町費の教員の待遇も含めた勤務条件について、改善していくことが求められる。 ・にこにこ学習会では業務の一部を委託して実施した。担当指導主事の出張等の予定に関わらず定期的に実施できたことは大きな成果である。</p>			
<p>内部評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 取り組みは有効であった <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みは有効であったが手法等に課題があった <input type="checkbox"/> 取り組みは有効ではなかった</p>			
<p>第2期総合戦略における事業の方向性</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;">第2期総合戦略での事業継続</td> <td style="text-align: center; width: 25%;"><input checked="" type="checkbox"/> 継続する</td> <td style="text-align: center; width: 25%;"><input type="checkbox"/> 継続しない</td> </tr> </table> <p>学力向上に向けては、学習環境の条件整備とともに学力を育む授業改善を進めているところである。事業の効果が評価指標に反映されるには時間がかかるもの、子どもたちが確かな学力を身につけられるよう、次の内容で取組を検討する。 ・教育フロンティア専門指導員による夏休みの教職員研修講座の継続の内容の充実 ・少人数学習補充教員の人材確保及び勤務条件並びに運用の改善についての検討 ・にこにこ学習会と他の事業(子ども未来塾)との連携及び在り方についての検討</p>	第2期総合戦略での事業継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続する	<input type="checkbox"/> 継続しない
第2期総合戦略での事業継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続する	<input type="checkbox"/> 継続しない		

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート
(平成27年度～令和元年度)

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	子育て応援環境整備事業		
戦略事業責任者	町民部長	作成責任者	協働文化推進課長
		作成年月日	令和2年11月4日
担当部課名	町民部協働文化推進課 / 健康子ども部子育て支援課		
基本目標	基本目標3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくります		
施策名	施策5 子育てを応援する地域社会の実現		
目指すべき基本的方向	○仕事と生活の調和を図り、子育てしやすい環境を実現するため、コミュニティや町内の企業などの地域社会が連携し、一丸となって子育てを応援する環境づくりを進めます。		

事業費の状況(単位:円)		5年間合計	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額	2,979,428	600,000	664,000	704,000	654,428	357,000
	決算(見込み)額	1,737,139	300,000	306,716	261,205	627,226	241,992

KPI (重要業績評価指標)	指標名(単位)	基準値	実績値				
			目標値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
さむかわ男女共同参画プラン(仕事と生活の調和)実施計画の各事業の年度別目標値達成率(%)	(H25実績)	100	100	100	73	53	64
		100	100	100	100	100	100
子育て支援に関する団体等への支援数(累計)(件)	0	1	3	5	9	12	
		2	4	6	8	10	

計画期間における取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要						
	事業の内容	男女共同参画推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次寒川男女共同参画プランの実施計画に定めた、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)推進のための環境づくりを行う事業(労働、子育て、介護に関する教室・講座の開催、情報提供、意識啓発、子育て家庭等への支援事業)を各事業担当課で実施した。また、前年度実施事業について、各事業担当課の自己評価及び外部委員からなる「さむかわ男女共同参画プラン推進協議会」による評価を行い、課題・今後の方向性等を認識するとともに、翌年度事業計画に反映させた。 ・女性の活躍推進のためには男性側の理解・協力が必要なことから、「双方の円満な関係」を促進するための講演会を開催した。 					
				H27	H28	H29	H30	H31
予算額				-	64,000	104,000	57,000	57,000
決算(見込)額				-	59,884	98,000	52,000	46,000
事業の内容	地域子育て環境づくり支援事業 ※H27:地方創生先行型事業	地域で子育て支援を行うボランティア団体等の活動の立ち上げや地域の実情に応じた子育て支援活動に対する補助を行った。(上限30万円)						
				H27	H28	H29	H30	H31
			予算額	600,000	600,000	600,000	597,428	300,000
			決算(見込)額	300,000	246,832	163,205	575,226	195,992

計画期間における取り組みの効果検証／内部評価(Check1)

<p>計画期間における取り組みの成果(効果検証)</p>	<p>【男女共同参画推進事業】 仕事と生活の調和(ワークライフ・バランス)推進のための環境づくりを行うことにより、子育て世代が安心して結婚、出産し、子育て等と仕事の両立ができる環境の整備を進めることができた。</p> <p>【地域子育て環境づくり支援事業】 支援した団体において、それぞれの趣旨に即した子育て支援活動を行うことができ、そのことを通じて、その団体の存在を知ってもらい、活動の和を広げることにつながった。</p>			
<p>KPI(重要業績評価指標) KGI(重要目標達成指標) に関する分析</p>	<p>KPIの達成状況に関する分析 (どの取組項目がどのようにKPIに寄与したか)</p> <p>【男女共同参画推進事業】 各事業担当課からの実績報告では、14事業中5事業が目標達成に至らなかったが、9事業については目標達成している。目標達成事業が1事業増加したため(B評価からA評価へ1事業が移行)達成率が増加した。なお今後さむかわ男女共同参画プラン推進協議会で分析評価を行い、目標達成に向け各事業の進行管理に留意してゆく。</p> <p>【地域子育て環境づくり支援事業】 平成30年度に4団体へ補助金を交付したが、2団体は新規に申請があったもので、子育て支援センターでの制度のPRを工夫したことで支援数の増加につながった。</p> <p>KGIの達成状況に関する分析 (取組及びKPIの達成状況がどのようにKGIに寄与したか)</p> <p>【男女共同参画推進事業】 ワーク・ライフ・バランスが推進されることにより子育てがしやすい環境整備に繋がっていきと考えられ、年少人口については目標値は下回ってしまったものの推計値を上回っているため、年少人口の減少抑制につながっていると考えられる。</p> <p>【地域子育て環境づくり支援事業】「地域子育て環境づくり支援事業」による補助を受けた団体の活動は活発に行われていることが確認でき、KPIも計画期末において達成できている。平成27年度の学童保育会立上げに対する補助は、その後の児童クラブ運営に結びつき、現在補助している子ども食堂の活動や引きこもり児童への支援活動等と併せて、地域で子育てを支援する機運の醸成に寄与しているが、合計特殊出生率については平成27年には目標達成したものの、その後は伸びず、年少人口についてもその減少を抑えるまでに至らず、目標を達成できなかった。</p>			
<p>取り組みにおける課題</p>	<p>【男女共同参画推進事業】 仕事と生活の調和(ワークライフ・バランス)の推進のための環境づくりには、事業所や労働者に継続的にその考え方を周知していく必要がある。事業実施に当たっては、社会情勢等の状況を反映させていく必要がある。</p> <p>【地域子育て環境づくり支援事業】 制度を利用してもらうために、効果的に制度のPRを行う必要があることから、子育て支援を実施する団体の積極的な把握に努める。</p>			
<p>内部評価結果</p>	<p>■取り組みは有効であった □取り組みは有効であったが手法等に課題があった □取り組みは有効ではなかった</p>			
<p>第2期総合戦略における事業の方向性</p>	<table border="1" data-bbox="422 1344 1450 1366"> <tr> <td style="text-align: center;">第2期総合戦略での事業継続</td> <td style="text-align: center;">■継続する</td> <td style="text-align: center;">□継続しない</td> </tr> </table> <p>【男女共同参画推進事業】 仕事と生活の調和(ワークライフ・バランス)の推進のための環境づくりには、事業所や労働者に継続的にその考え方を周知していく必要があるため、今後も啓発活動を続けていく。事業実施に当たっては社会情勢等の状況を反映させ、適切な事業実施に努めていく。</p> <p>【地域子育て環境づくり支援事業】 引き続き制度周知を図り、制度を利用する団体を増やすことで、地域で子育てを支援する機運の醸成に努めていく。</p>	第2期総合戦略での事業継続	■継続する	□継続しない
第2期総合戦略での事業継続	■継続する	□継続しない		

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート
(平成27年度～令和元年度)

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	安心なまちづくり整備事業		
戦略事業責任者	町民部長	作成責任者 町民安全課長	作成年月日 令和2年11月4日
担当部課名	町民部町民安全課		
基本目標	基本目標4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなでつくります		
施策名	施策6 さらなる安心した暮らしのための防犯対策の充実		
目指すべき基本的方向	○安心して暮らせるまちを実現するため、地域の防犯対策や子どもを見守る活動の充実などを町民との協働により進め、地域の防犯力の向上を図ります。		

事業費の状況(単位:円)		5年間合計	H27	H28	H29	H30	H31
		予算額	125,948,546		29,518,000	31,240,546	32,265,000
	決算(見込み)額	121,079,747		27,889,915	30,194,487	31,403,275	31,592,070

KPI (重要業績評価指標)	指標名(単位)	基準値	実績値				
			目標値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
	空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数(件)	170	122	124	93	91	83
			165	160	155	150	145

計画期間における取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要						
			H27	H28	H29	H30	H31	
事業の内容	防犯灯整備事業	夜間の犯罪などの抑制を図り、安心なまちづくりを推進するため、防犯灯設置の要望のあった箇所(25箇所)、町で必要と判断した箇所(6箇所)、合計31箇所の設置をし、維持管理を行った。						
			予算額		21,515,000	21,065,000	21,501,000	22,150,000
			決算(見込)額		20,280,259	20,689,432	21,379,782	21,217,762
事業の内容	防犯対策推進事業	犯罪抑止を図るため、キャンペーンによる防犯に対する意識啓発、一之宮分庁舎(防犯連絡所)を拠点とした防犯アドバイザーと防犯相談員による町内全域のパトロールや講話、職員による青色回転灯装備車での町内走行、旭小学校と一之宮小学校への防犯カメラ設置(各校1台)を行った。						
			予算額		3,628,000	10,175,546	10,764,000	10,775,000
			決算(見込)額		3,246,456	9,505,055	10,023,493	10,374,308
事業の内容	交番施設整備促進事業	-						
			予算額		4,375,000	-	-	-
			決算(見込)額		4,363,200	-	-	-

計画期間における取り組みの効果検証／内部評価(Check1)

<p>計画期間における取り組みの成果(効果検証)</p>	<p>空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数(件)が減少し、目標値を達成した。</p>		
<p>KPI(重要業績評価指標) KGI(重要目標達成指標) に関する分析</p>	<p>KPIの達成状況に関する分析 (どの取組項目がどのようにKPIに寄与したか) 町民からの要望のあった防犯灯設置箇所については、概ね設置でき、町民の安心・安全確保に努めることができた。また、一之宮分庁舎(防犯連絡所)を拠点とした町内のパトロール等や旭小学校と一之宮小学校の防犯カメラ設置で犯罪抑止力を高めることができた。</p>		
	<p>KGIの達成状況に関する分析 (取組及びKPIの達成状況がどのようにKGIに寄与したか) 防犯灯の設置や防犯パトロール等、また各種啓発活動により、刑法犯罪全体の件数減少をさせることができた。</p>		
<p>取り組みにおける課題</p>	<p>目標値は達成しているが、依然として約4日に1件の割合で空き巣・自転車盗・ひったくりが発生しているため、キャンペーンの継続及び全職員での青色回転灯を装備した公用車で町の内パトロールの徹底が必要である。</p>		
<p>内部評価結果</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みは有効であった <input type="checkbox"/> 取り組みは有効であったが手法等に課題があった <input type="checkbox"/> 取り組みは有効ではなかった </p>		
<p>第2期総合戦略における事業の方向性</p>	<p style="text-align: center;">第2期総合戦略での事業継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続する <input type="checkbox"/> 継続しない</p>		
	<p> ・「防犯灯整備事業」「防犯対策推進事業」を事業内容を鑑み「防犯対策推進事業」に一本化する。 ・町内における犯罪発生件数は、年々減少傾向にあるが、特殊詐欺の巧妙化などによる被害発生も依然として発生しており、町民の不安感は、まだまだ改善されていないと考え、引き続き、防犯灯や防犯カメラの設置に加え、様々な啓発事業を実施していく。 </p>		

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート
(平成27年度～令和元年度)

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	若者参画推進事業		
戦略事業責任者	町民部長	作成責任者 協働文化推進課長	作成年月日 令和2年11月4日
担当部課名	町民部協働文化推進課 / 企画部企画政策課		
基本目標	基本目標4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなでつくります		
施策名	施策7 まちづくり活動への若い世代の参加・参画の促進		
目指すべき基本的方向	〇これまで進めてきた町民との協働の取り組みをさらに力強いものとし、地域の活性化を図り若い世代から選ばれる「まち」となるよう町の次代を担う若い世代の意見を町政運営に活かしていく仕組みを構築します。		

事業費の状況(単位:円)		5年間合計	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額	4,232,000		1,500,000	1,800,000	916,000	16,000
	決算(見込み)額	3,235,124		1,063,000	1,280,778	877,346	14,000

KPI (重要業績評価指標)	指標名(単位)	基準値	実績値				
			目標値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
若い世代による協働に向けた取り組み件数(累計)(件)		1	1	2	4	5	6
			1	2	3	4	5

計画期間における取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要						
	さむかわ若者会議促進事業	寒川みんなの花火を後援(H27～H30)、寒川青年会議所と共催で、18歳選挙権のワークショップを開催(H28)、「まちびとすたいる(さむかわ若者会議、略称まちすた)」が設立(H28)、まちづくり懇談会で若者・子育て世代編を開催(H28～R1)、まちすたがミート・ミーティングを開催(H29、R1)、我がまちツマミde乾杯宣言に関するPR動画を制作(H29)、まちすたが桜祭りを開催(H30)、認定NPO法人キーパーソン21が寒川中学で実施した「わくわくエンジン」にまちすたが協力(H30)、まちすたがつながるカフェを実施(R1)	H27	H28	H29	H30	H31	
			予算額		0	0	0	0
決算(見込)額				0	0	0	0	
事業の内容	協働事業提案制度推進事業	協働事業として延べ15事業を採択(H27～H29)、協働事業の実績報告会を開催(H28～H30)、まちづくり推進会議で実績報告に対する選考委員会の意見の報告(H28～H30)、中間報告会を開催し提案団体の上半期での事業実施状況を報告(H28・H29)、町民ボランティア団体と町内NPO団体との情報交換会を開催(H28～R1)、事業制度の見直し(H29・H30)、茅ヶ崎市市民討議会を視察(H29)、町民2,500名を無作為抽出し27名が参加して市民討議会を実施(H30)、実施要綱の改正(H30)、新たな協働事業として4事業を採択(R1)	H27	H28	H29	H30	H31	
			予算額		1,500,000	1,800,000	916,000	16,000
			決算(見込)額		1,063,000	1,280,778	877,346	14,000
事業の内容	さむかわ町民全体会議推進事業	他自治体の事例収集や業者からの情報収集を行い、業者からアプリの企画書・見積書もらい内容や価格を確認(H28)、ウェブ上で町民同士が意見を交換することについて、一方向性の情報発信や意見収集でなく双方向性の持続的な意見交換の場は運営面の課題が多いことを確認(H29)、今後SNSが発展しeモニター制度も拡大した後に再度検討(H30)	H27	H28	H29	H30	H31	
			予算額		0	0	0	0
			決算(見込)額		0	0	0	0

計画期間における取り組みの効果検証／内部評価(Check1)

<p>計画期間における取り組みの成果(効果検証)</p>	<p>【さむかわ若者会議促進事業】寒川青年会議所と共催のワークショップにより若者との情報交換が図れた。まちすたが設立がされた。まちづくり懇談会で若者と町長が懇談し、若い方の意見を集約できた。まちすたにより、ミート・ミーティング、我がまちツマミde乾杯宣言への協力、桜祭り、「わくわくエンジン」への協力、つながるカフェ等の取り組みが行われた。 【協働事業提案制度推進事業】提案団体による事業のプレゼンテーションを開催し、外部委員による開かれた選考会ができた。市民討議会を実施し、実行委員会の提言を受けて新たな協働事業提案制度を始めることができた。情報交換会において、ボランティア団体やNPO団体の情報交換ができた。 【さむかわ町民全体会議推進事業】官民どちらの運営でも、双方向性の持続的な意見交換の場は、運営面の課題が極めて多いことが確認できた。</p>			
<p>KPI(重要業績評価指標) KGI(重要目標達成指標) に関する分析</p>	<p>KPIの達成状況に関する分析 (どの取組項目がどのようにKPIに寄与したか) 寒川みんなの花火の開催(実行委員会)、桜祭りとつながるカフェの開催と「わくわくプログラム」実施への協力(まちすた)、まちづくり懇談会若者・子育て世代編の開催(町)</p> <p>KGIの達成状況に関する分析 (取組及びKPIの達成状況がどのようにKGIに寄与したか) 「若い世代による協働に向けた取り組み」として上の取組項目が6件あり寄与したが、「若い世代からの意見を町政に反映した件数」の目標値である10件は達成していない。</p>			
<p>取り組みにおける課題</p>	<p>【さむかわ若者会議促進事業】①若者のまちづくりに対する意識醸成や政策提言の具現化。若い世代の掘り起こし。若い世代のまちづくり参画促進に向けた支援。②新型コロナウイルス感染症拡大防止の状況下での取り組みの模索。 【協働事業提案制度推進事業】①②協働事業や住民活動の裾野拡大。町民ボランティア団体や町内NPO団体の情報交換。 【さむかわ町民全体会議推進事業】①②効果と比較し、開発・運用費が大きい。自治体主体の運用に課題が多く、運用事例がない。匿名での意見交換による発言者同士の誹謗中傷発生の危険性。持続的なやりとりが発生しにくい。</p>			
<p>内部評価結果</p>	<p><input type="checkbox"/> 取り組みは有効であった <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みは有効であったが手法等に課題があった <input type="checkbox"/> 取り組みは有効ではなかった</p>			
<p>第2期総合戦略における事業の方向性</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;">第2期総合戦略での事業継続</td> <td style="text-align: center; width: 25%;"><input checked="" type="checkbox"/> 継続する</td> <td style="text-align: center; width: 25%;"><input type="checkbox"/> 継続しない</td> </tr> </table> <p>【さむかわ若者会議促進事業】引き続き、若者のまちづくりに対する意識醸成や政策提言の具現化、若い世代の掘り起こし、若い世代のまちづくり参画促進に向けた支援に努める。 【協働事業提案制度推進事業】協働事業や住民活動の裾野拡大に留意し、協働事業の採択は継続する他、町民ボランティア団体やNPO団体が他団体の活動を知る機会の創出に努める。また、各課等における協働の取り組みを把握し職員に周知する。 【さむかわ町民全体会議推進事業】運用面での課題の多さや、匿名での意見交換による発言者同士の誹謗中傷発生の危険性等を考慮し、現時点では見合わせる。</p>	第2期総合戦略での事業継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続する	<input type="checkbox"/> 継続しない
第2期総合戦略での事業継続	<input checked="" type="checkbox"/> 継続する	<input type="checkbox"/> 継続しない		

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート
(平成27年度～令和元年度)

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	公共交通環境整備事業		
戦略事業責任者	都市建設部長	作成責任者	都市計画課長
担当部課名	都市建設部都市計画課		
基本目標	基本目標4 発展し続けるまち「さむかわ」をみんなでつくります		
施策名	施策8 より快適な生活の実現に向けた交通環境の整備		
目指すべき基本的方向	○今後の高齢化の進展を見据えながら、すべての人が安心して快適に暮らせるよう、公共交通の利便性の向上を図り、より快適な交通環境を実現します。		

事業費の状況(単位:円)		5年間合計	H27	H28	H29	H30	H31
	予算額	181,699,160	7,500,000	12,600,000	12,500,000	36,119,000	112,980,160
	決算(見込み)額	71,853,756	6,914,403	11,282,350	11,502,890	29,927,924	12,226,189

KPI (重要業績評価指標)	指標名(単位)	基準値	実績値				
			目標値				
		H26	H27	H28	H29	H30	H31
寒川町内の駅バリアフリー対策率(%) (バリアフリー化済駅数/全駅数)	66.6	66.6	66.6	66.6	66.6	66.6	66.6
		66.6	66.6	66.6	66.6	100	100
コミュニティバス土・日曜日運行乗降客数(人/日)	(平日)207	121	129	134	143	131	
		113	134	155	175	196	

計画期間における取り組みの状況(Do)

事業の内容	取組項目	取組概要					
			H27	H28	H29	H30	H31
			公共交通充実促進事業 ※H27:地方創生先行型事業	<p>①寒川町内で、唯一バリアフリー化が図られていない倉見駅へのエレベーター設置や多機能トイレの整備をすべく、計画期間を通して事業実施主体であるJR東日本と適宜協議を行った。JR東日本によりH29に基本設計、H30に詳細設計が行われ、R2年1月に工事が着手された。</p> <p>②コミュニティバス「もくせい号」は、町内の交通不便地域の解消や交通弱者の機動性の確保等、移動支援が必要な住民のために運行をしている。社会的背景や住民ニーズ等を受けて、平成27年10月から土・日曜日の運行を開始し、計画期間中運行を継続した。その間、随時周知啓発活動を行い、H30に倉見大村ルートで年始迂回ルートの設定、東ルートで車両の更新、全ルートの運行車両へ町ブランディング事業の醸成、H31(R1)に東ルートで一部ルート延長による実証運行開始、全バス停留所標識の更新に伴い町ブランディング事業の醸成を行った。</p>			
予算額	7,500,000	12,600,000	12,500,000	36,119,000	112,980,160		
決算(見込)額	6,914,403	11,282,350	11,502,890	29,927,924	12,226,189		

計画期間における取り組みの効果検証／内部評価(Check1)

<p>計画期間における取り組みの成果(効果検証)</p>	<p>①寒川町内で、唯一バリアフリー化が図られていない倉見駅へのエレベーター設置や多機能トイレの整備をすべく、事業実施主体であるJR東日本と適宜協議を行うことで、計画期間中の目標達成はできなかったものの、JR東日本による倉見駅のバリアフリー化に向けた整備は着実に進んでいる。 ②平日利用者207人／日に対して、これまで少なかった土日利用者が、目標値には届かない年があったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数減となったH31(R1)以外は年々増加し、快適な交通環境を提供できている。</p>			
<p>KPI(重要業績評価指標) KGI(重要目標達成指標) に関する分析</p>	<p>KPIの達成状況に関する分析 (どの取組項目がどのようにKPIに寄与したか) ①事業実施主体であるJR東日本の一部計画の見直し等により、施工スケジュールが遅れ計画期間中の目標達成はできなかったものの、JR東日本とは適宜協議を行うことで、遅れながらも着実に整備は進み令和2年1月に工事が着手された。 ②土日利用については、平成27年度の導入以降、運行形態の改善や各種啓発活動、町ブランディング事業の醸成等を通して利用者数が増加傾向で推移していたものの、令和元年度については新型コロナウイルス感染症の影響で若干利用者数が減少した。</p> <p>KGIの達成状況に関する分析 (取組及びKPIの達成状況がどのようにKGIに寄与したか) ①事業実施主体であるJR東日本と適宜協議を行ったことで、計画期間内では完了しなかったものの着実に倉見駅のバリアフリー整備は進んでいるため、公共交通網の満足度上昇に寄与すると考える。 ②運行形態の改善や各種周知啓発活動、町ブランディング事業の醸成等を行ったことで、利用者数は平成30年度まで常に右肩上がり推移しており、一定の利便性の向上に寄与したと考える。</p>			
<p>取り組みにおける課題</p>	<p>①倉見駅利用者の利便性向上のために一日でも早い整備が必要であり、現在示されているスケジュールに遅れが出ないよう今後も事業実施主体であるJR東日本との協議を適宜行う必要がある。 ②今後は、新たな方法による利用促進策を模索し、実行していくことが重要であり、また、運行の効率化やサービス水準向上と、さらなる運行形態の見直し等を検討する必要がある。</p>			
<p>内部評価結果</p>	<p>■取り組みは有効であった □取り組みは有効であったが手法等に課題があった □取り組みは有効ではなかった</p>			
<p>第2期総合戦略における事業の方向性</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;">第2期総合戦略での事業継続</td> <td style="text-align: center; width: 25%;">■継続する</td> <td style="text-align: center; width: 25%;">□継続しない</td> </tr> </table> <p>「寒川町内の駅バリアフリー対策率」については、令和2年度中の倉見駅バリアフリー整備完了に伴い100%となる予定である。また、「コミュニティバス土・日曜日運行乗降客数」については、周知啓発活動等により一定の利用者数の増加に寄与したが、今後、新型コロナウイルス感染症の影響により今までのような利用者数の増加を見込むことは困難と考える。そのため、第2期総合戦略については、新たな指標のもと、公共交通の利便性の向上を図り、より快適な交通環境を目指す必要がある。</p>	第2期総合戦略での事業継続	■継続する	□継続しない
第2期総合戦略での事業継続	■継続する	□継続しない		